

バルコニーに配置したドレンと縦樋を繋ぐ方法【屋根伏図】

文書管理番号：1159-02

Q. 質問

バルコニーにドレンを配置して、縦樋と繋げたい。

A. 回答

屋根伏図の屋根化粧材で、バルコニーにドレンを配置して縦樋へ繋げることができます。

ドレンには「横引きドレン」と「縦引きドレン」の2種類があります。それぞれの基本的な入力手順といくつかの入力例を紹介します。



【参考】

横引きドレンは「バルコニー手摺」「現場作成フラワーボックス手摺」「外部廊下手摺」「パラペット」に配置できます。外部壁（ポーチ壁や外部腰壁など）には配置できません。

縦引きドレンは「バルコニー」「現場作成フラワーボックス」「外部廊下」「陸屋根」に配置できます。

操作手順：横引きドレン

● ドレンを配置

- ① (屋根伏図)でバルコニーを配置している階を表示

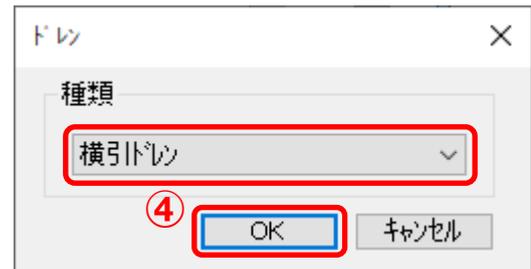
* ここでは2階を表示します。

- ② (屋根化粧材)をクリック

- ③ (ドレン)をクリック

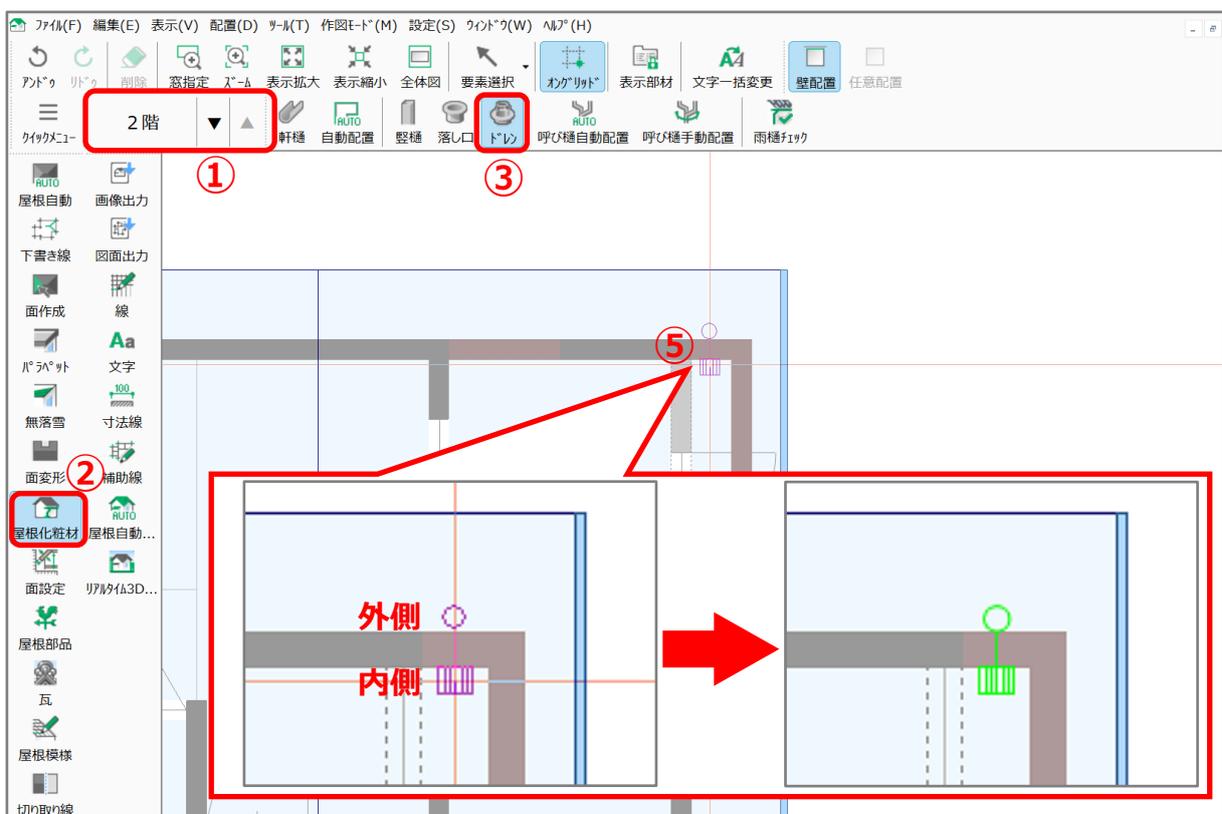
* ドレン種類の選択画面が表示されます。

- ④ 「横引ドレン」を選択し、「OK」をクリック



- ⑤ バルコニーの手摺に沿うように位置を調節してクリック

* マウスの動きにあわせて横引きドレンのラバーバンド表示が動きますので、○の形状が外側にくるように配置してください。



● 竪樋を配置

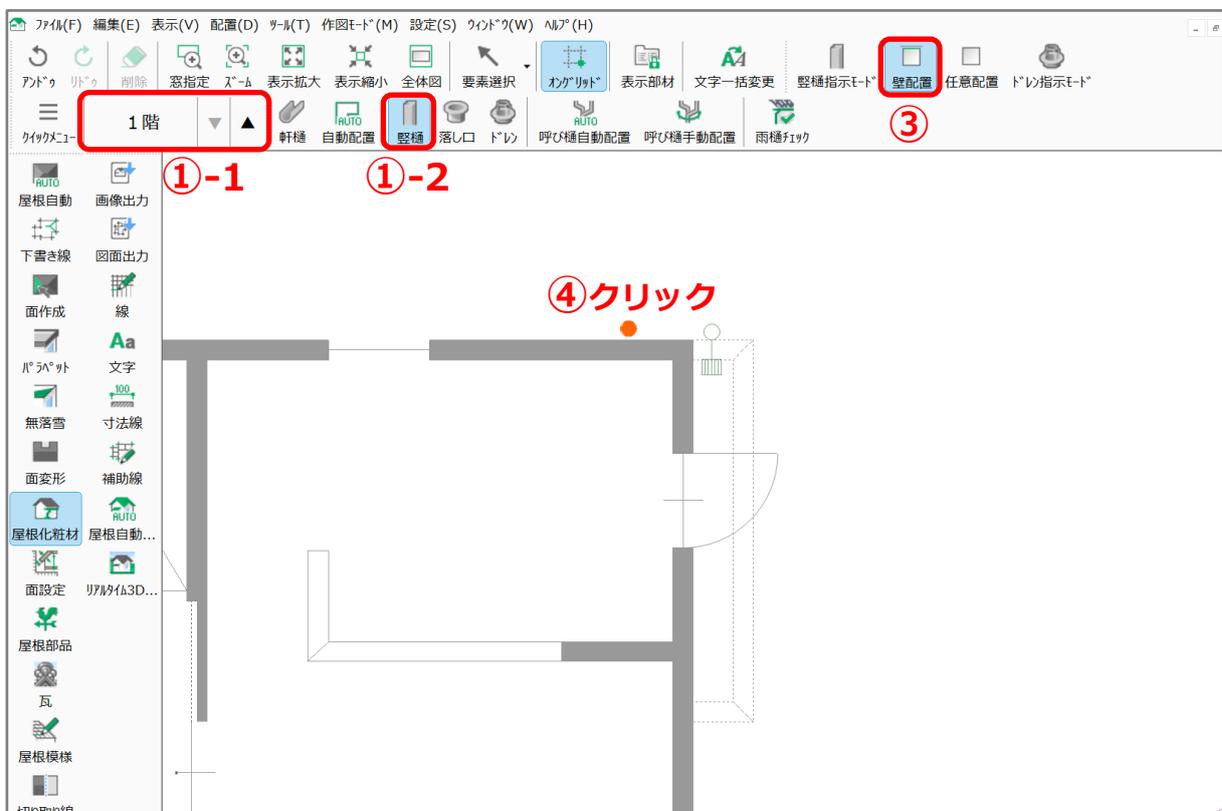
- ① 下階を表示し、 (竪樋)をクリック
 - * ここでは1階を表示します。
 - * 竪樋の種類、サイズを選択する画面が表示されます。
- ② 種類、サイズを設定して「OK」をクリック
 - * ここでは、種類は「丸型」、サイズは直径「60」mmとします。



- ③  (壁配置)をクリック

- ④ 壁沿いでクリック

* マウスの動きにあわせて竪樋のラバーバンド表示が動きますので、壁沿いの任意の位置に配置します。

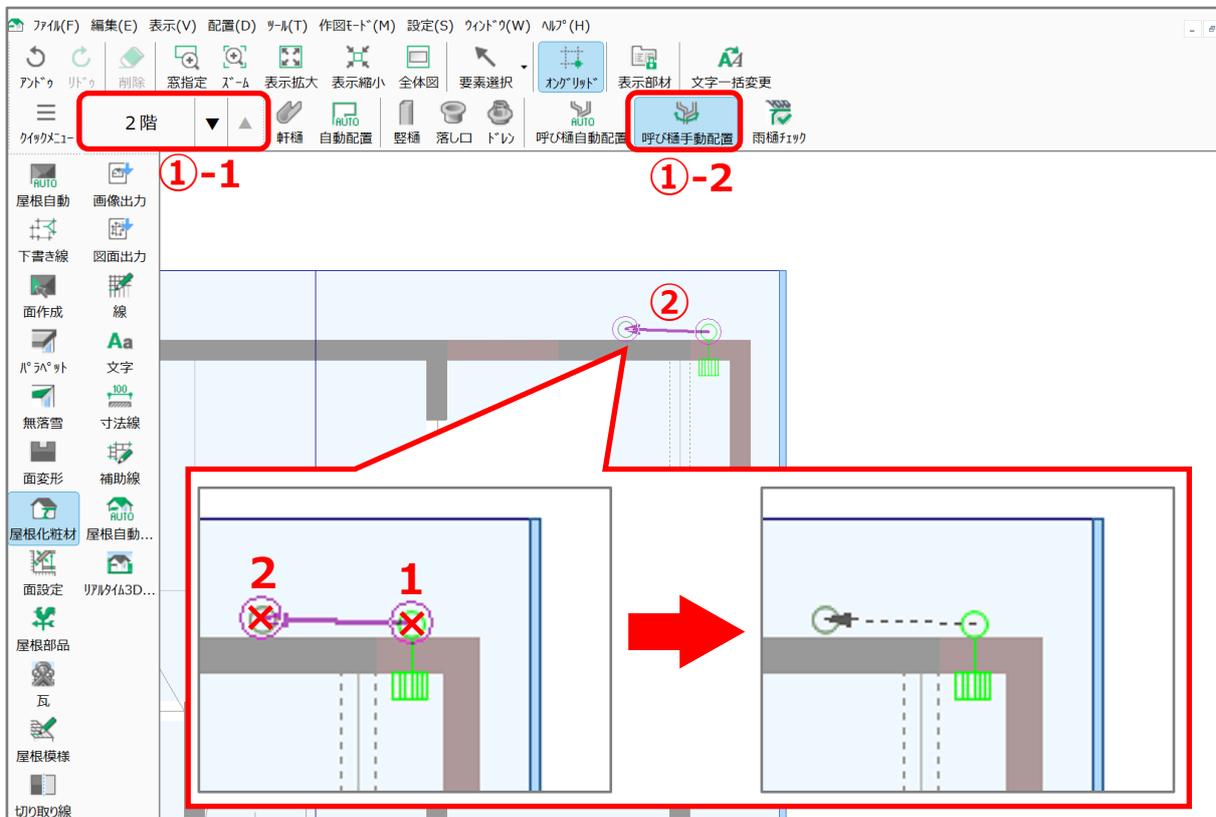


● ドレンと縦樋を繋げる

① 上階を表示し、 (呼び樋手動配置) をクリック

* ここでは2階を表示します。

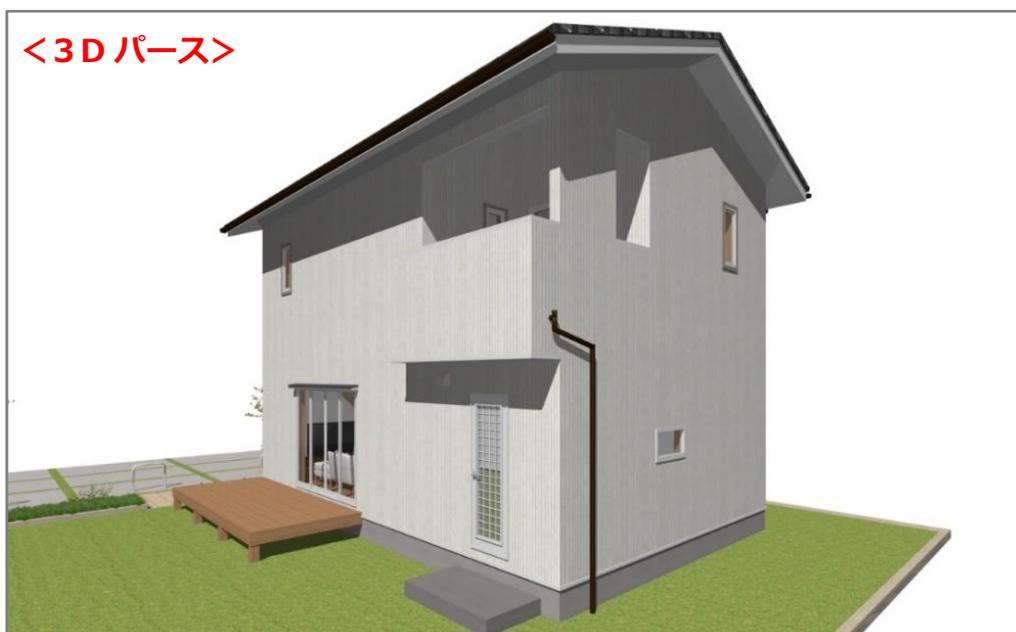
② ドレンの○をクリック後、縦樋（下階で配置した縦樋） をクリック



* 下階の縦樋はグレーで表示されていますが、カーソルをあわせるとスナップし、選択できます。

* ドレンの○と縦樋を結ぶ黒い点線が入力され、呼び樋で繋がります。

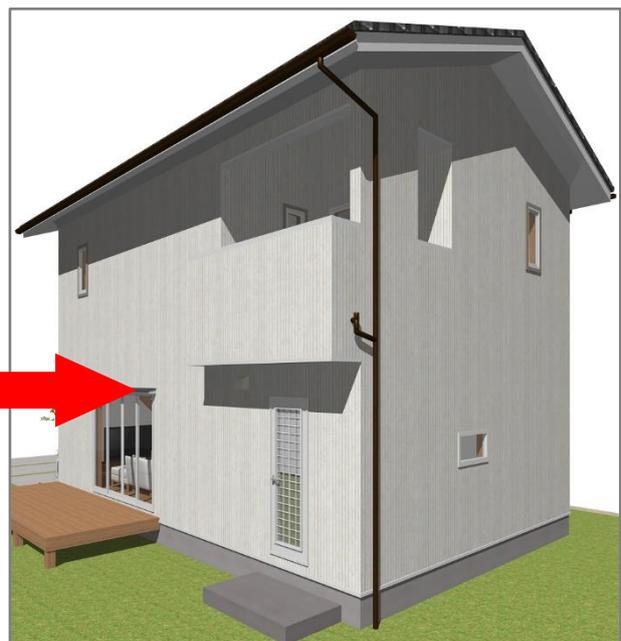
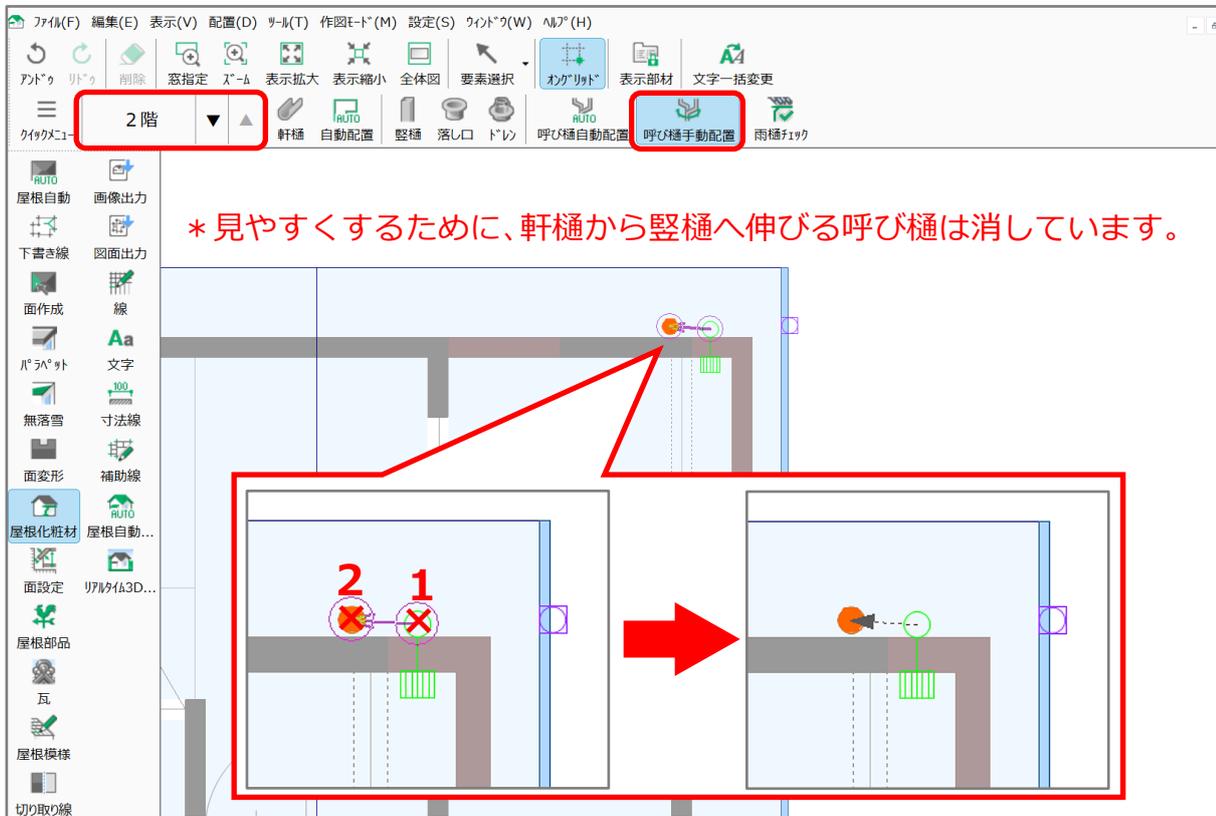
* (3D パース)や (カラー立面)、 (立面図)にも反映します。



参考

● 縦樋の途中にドレンからの樋を繋げる

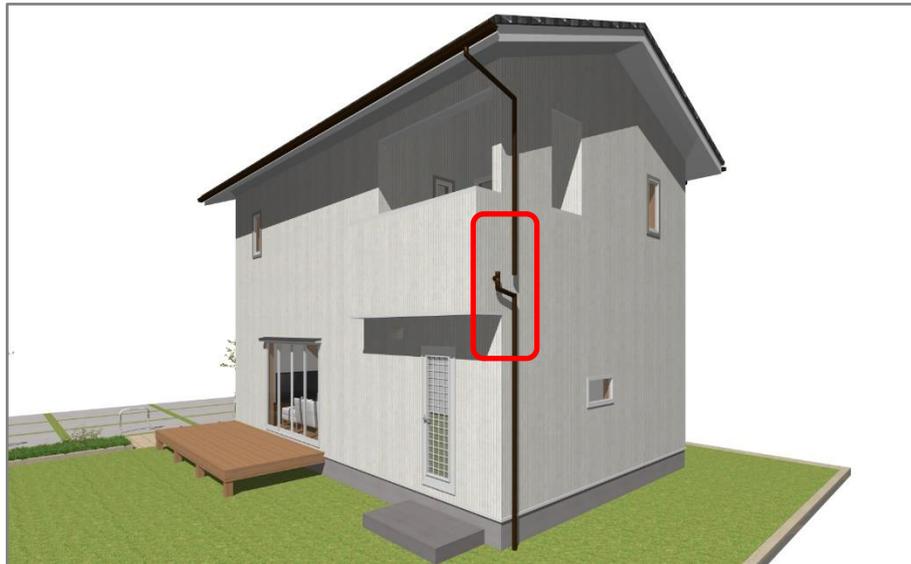
ドレンを配置している階を表示し、 (呼び樋手動配置) で、ドレンの○から縦樋へ呼び樋を配置します。



【注意】 1階縦樋と2階縦樋が繋がらない

以下の手順で操作を行った場合、1階縦樋はドレンと接続され、2階縦樋と繋がりません。

- ① 1階に縦樋を配置
- ② ドレンと1階縦樋を呼び樋手動配置で繋ぐ
- ③ 2階に縦樋を配置
- ④ 2階の落とし口と2階縦樋を呼び樋手動配置で繋ぐ



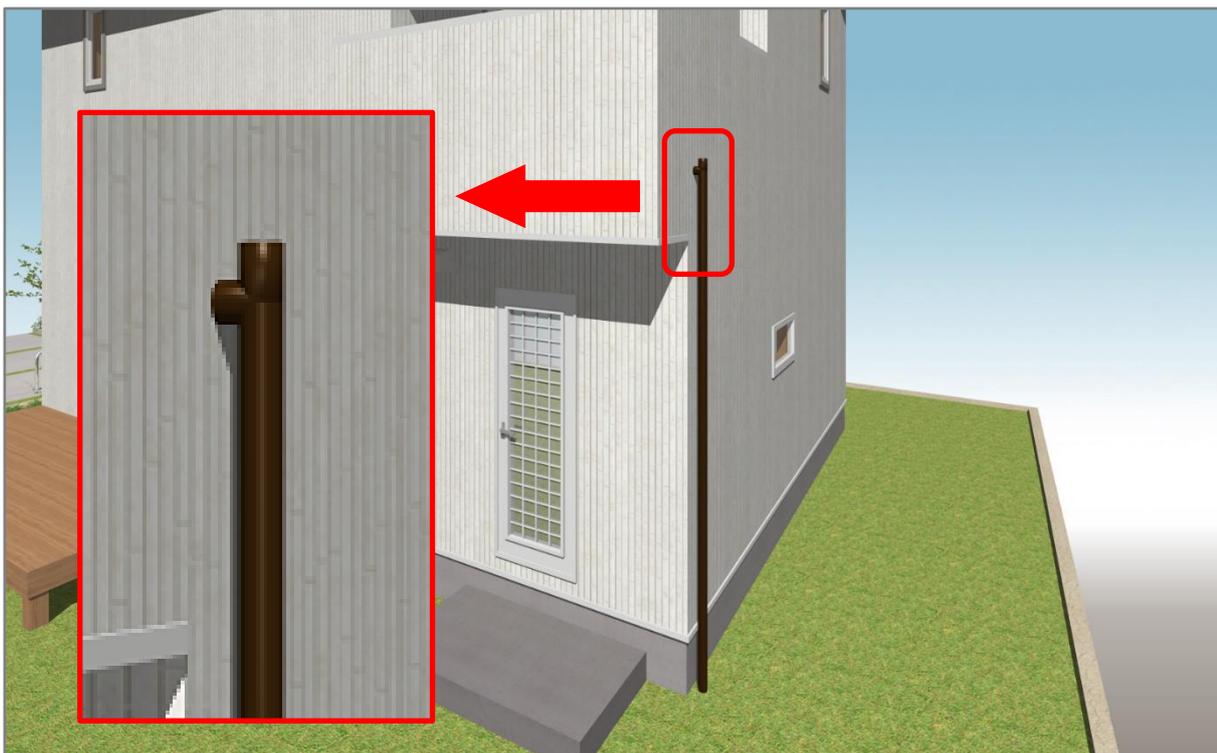
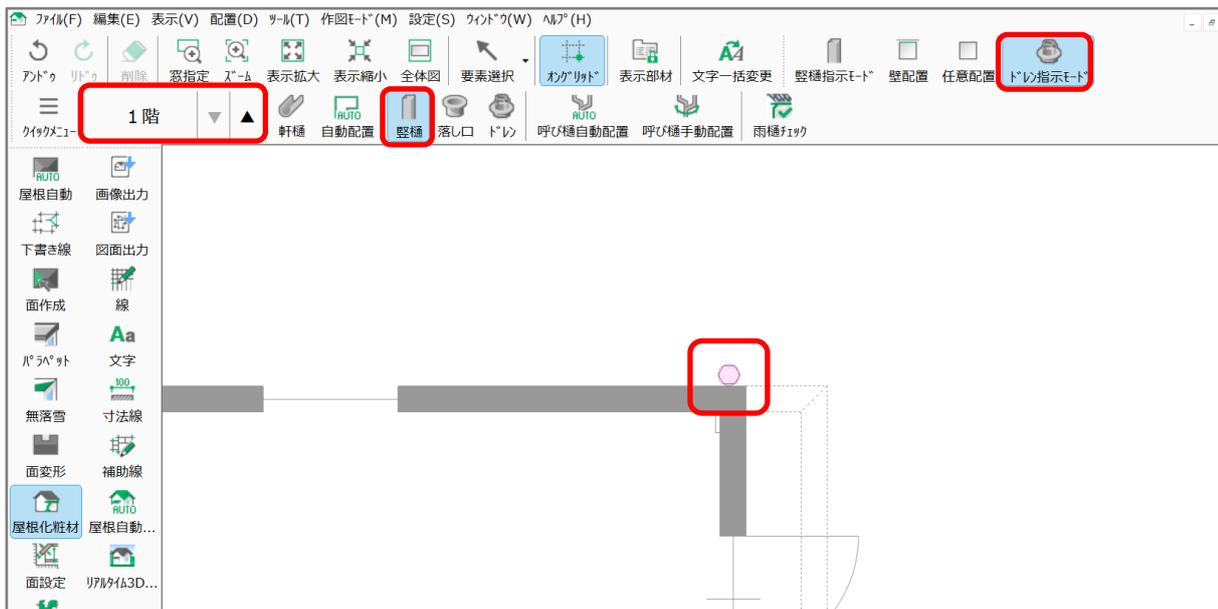
1階縦樋を配置後、必ず2階縦樋を  (縦樋指示モード)で配置してください。縦樋指示モードで配置することで、上下階の縦樋が繋がります。上下階の縦樋を繋げた後に、ドレンと縦樋を繋ぎます。

縦樋指示モードで上下階の縦樋を繋ぐ手順については、こちらをご覧ください。

[\[1158\] 上下階の縦樋を繋ぐ方法【屋根伏図】](#)

● ドレンから直接縦樋をおろす

下階で縦樋を (ドレン指示モード)で配置すると、縦樋とドレンを接続できます。



【注意】

 (3D パース)を起動したまま操作を行った場合は、3D パースの (3次元化)から再変換を行い、3D パースに反映させてください。

操作手順：縦引きドレン

● ドレンを配置

- ① (屋根伏図)でバルコニーを配置している階を表示

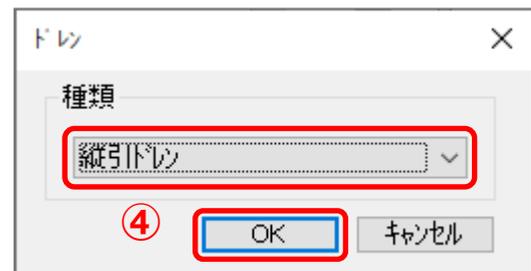
* ここでは2階を表示します。

- ② (屋根化粧材)をクリック

- ③ (ドレン)をクリック

* ドレン種類の選択画面が表示されます。

- ④ 「縦引ドレン」を選択し、「OK」をクリック



- ⑤ バルコニーの床でクリック

* マウスの動きにあわせて縦引きドレンのラバーバンド表示が動きますので、バルコニー上の任意の位置に配置します。

* 配置後はドレンがピンク色で表示されます。



● 縦樋を配置

① 下階を表示

* ここでは1階を表示します。

②  (縦樋)をクリック

* 縦樋の種類、サイズを選択する画面が表示されます。

③ 種類、サイズを設定して「OK」をクリック

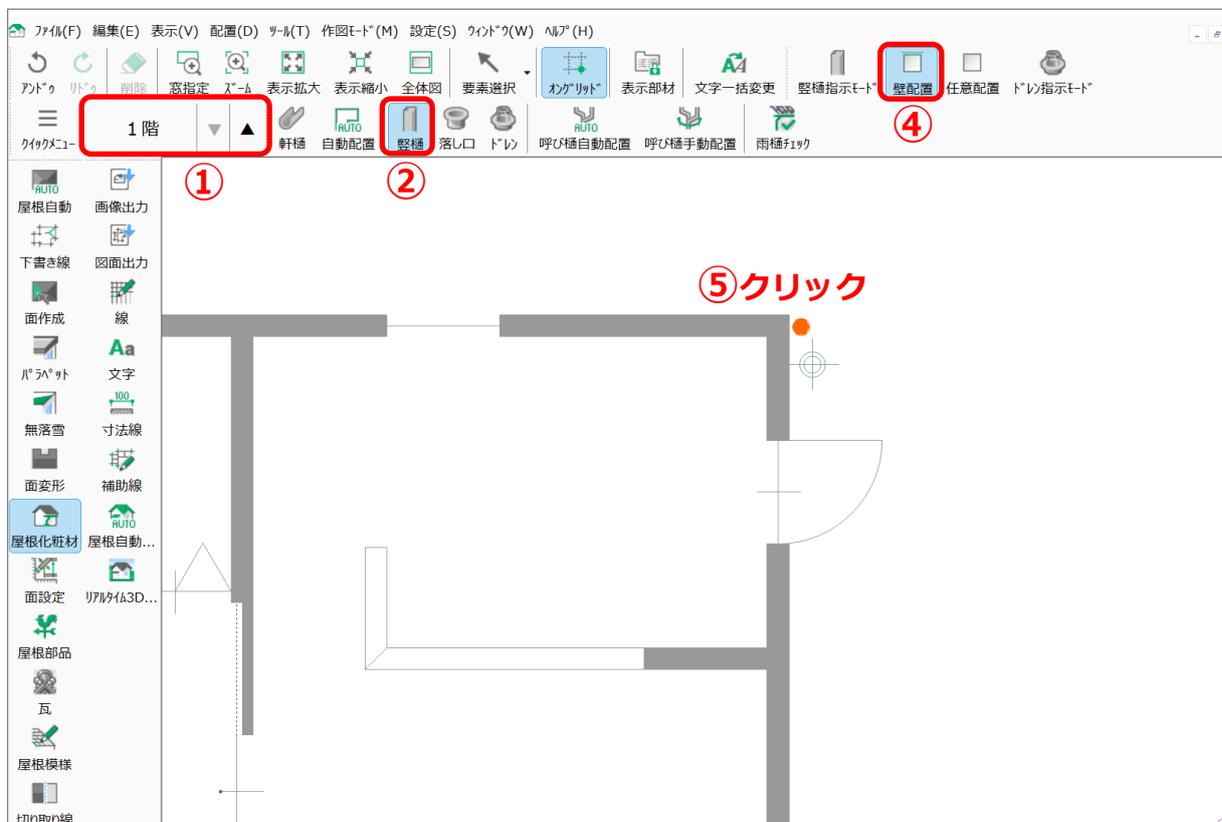
* ここでは、種類は「丸型」、サイズは直径「60」mmとします。

* マウスの動きにあわせて縦樋のラバーバンド表示が動きます。



④  (壁配置)をクリック

⑤ 壁沿いでクリック

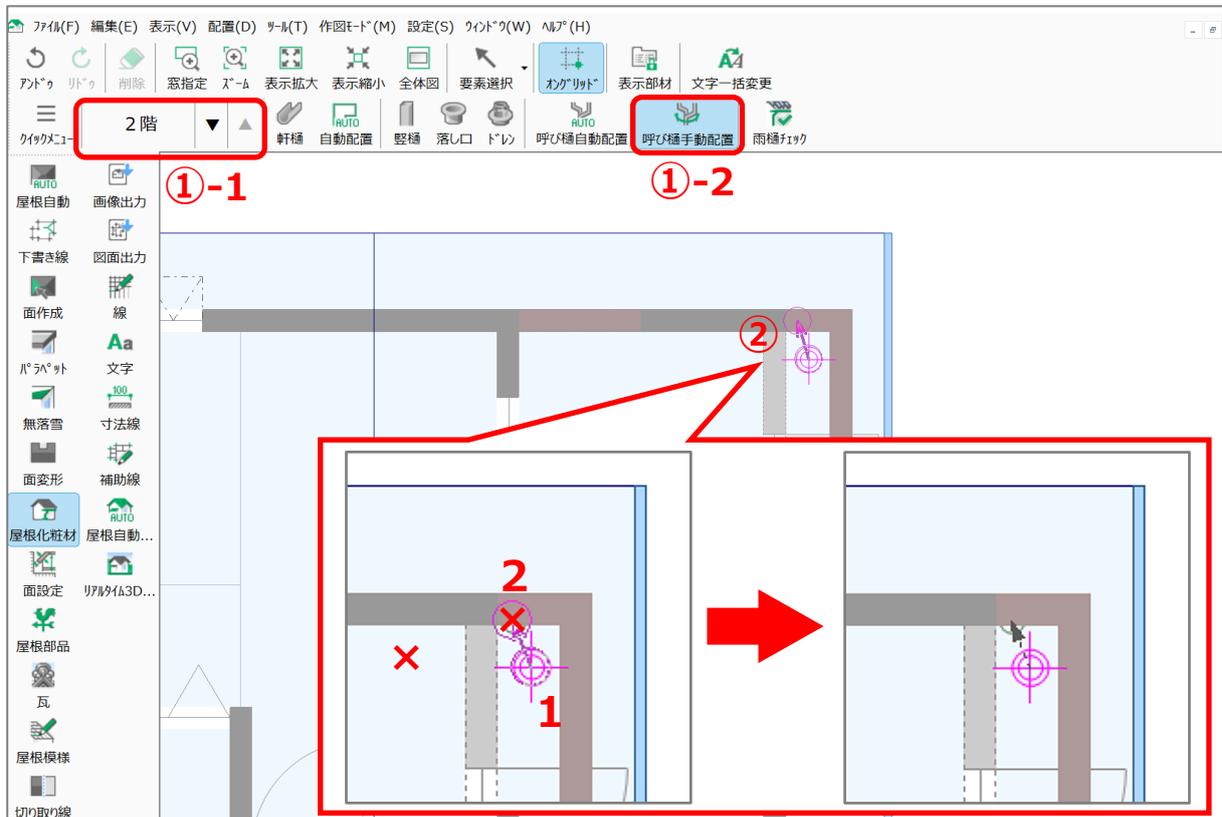


● ドレンと縦樋を繋げる

① 上階を表示し、 (呼び樋手動配置)をクリック

* ここでは2階を表示します。

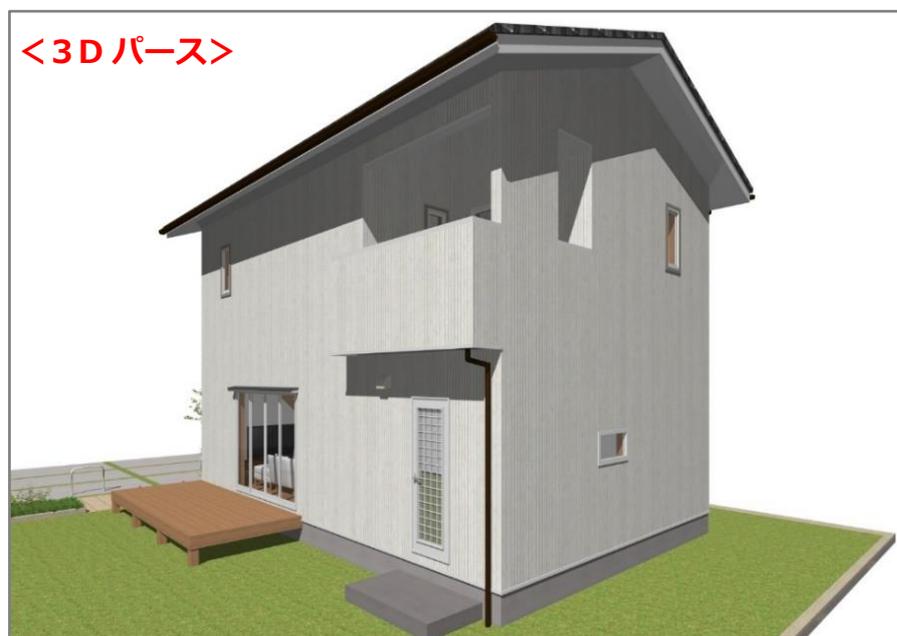
② ドレンをクリック後、縦樋 (1階で配置した縦樋) をクリック



* 下階の縦樋はグレーで表示されていますが、カーソルをあわせるとスナップし、選択できます。

* ドレンと縦樋を結ぶ黒い点線が入力され、呼び樋で繋がります。

* (3D パース)や (カラー立面)、 (立面図)にも反映します。



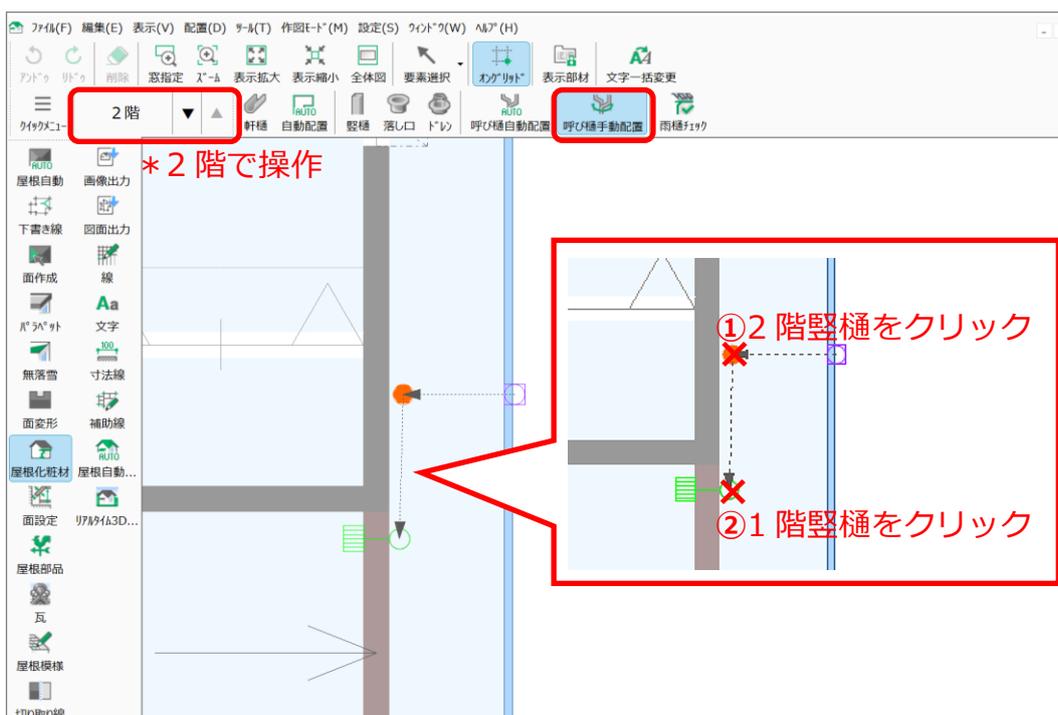
注意：縦樋が下に伸びる

縦樋同士を繋ぐ際に、呼び樋を使用する階により縦樋の生成が変わります。

以下のように、2階の縦樋をドレン側の縦樋に繋ぐ場合は、1階と2階それぞれに縦樋を配置後、2階で2階の縦樋と1階の縦樋を (呼び樋手動配置) を使用して繋がします。



【屋根伏図】



1階でも同様に、2階縦樋と1階縦樋を「呼び樋手動配置」で繋ぐことができますが、この場合、2階縦樋が地面まで伸びてしまいます。必ず上階で呼び樋手動配置を行ってください。

<1階で1階縦樋と2階縦樋を呼び樋で繋いだ場合>

